

学会年報第 13 号刊行のご案内と第 14 号への投稿のお願い

学会年報『現代社会と大学評価』が 2017 年 8 月に刊行されます。今号は「大学・大学評価の原点を探る」と題して下記の目次のような論考が掲載されています。間もなく会員の皆様のお手元に届くことと思います。ぜひご期待ください。

大学評価学会年報『現代社会と大学評価』第 13 号	
大学・大学評価の原点を探る	
目次	
《特集》大学・大学評価の原点を探る	
報告① 市民的大学評価論の確立に向けた大学政策の検討	光本 滋
報告② 市民とは誰か、市民のための大学とは何か	岡山 茂
報告③ 大学に迫りくる危機 — 軍事研究の動向について	松田 正久
《講演》 大学はこのままでいいのか	永田 和宏
《特別寄稿論文》民主主義教育の原理と「無償教育の漸進的導入」	
— 高等教育を視野に —	細井 克彦
《動向》韓国における登録金減額化と大学の在り方 — 江原道立大学を事例に —	
渡部 昭男・渡部（君和田）容子・桔川 純子	
《書評》「大学評価（論）の体系化」という問題提起について考える	
— JUA 選書第 15 巻『大学評価の体系化』をめぐって—	細川 孝
投稿規程・執筆要領	
編集後記	

同時に、第 14 号（2018 年 7 月刊行予定）に掲載される学術論文、資料、研究ノート（以上、査読審査対象）、実践報告、レビュー、動向（以上、閲読審査対象）への投稿を募集しています。投稿をご希望される会員は、8 月末日までに（※）執筆要領の「11.原稿送付先・問い合わせ先」宛、郵送・Fax・電子メールのいずれかの方法で投稿の申し込みをお願いします。書式は問いません。

※ 執筆要領では申し込み締め切りを 7 月末日としておりますが、学会通信・学会ウェブサイトのご案内が遅れたため、締め切りを 1 ヶ月遅らせています。ただし、査読審査を行う「論文・資料・研究ノート」の原稿提出期日は、執筆要領どおり 9 月末日とします。「実践報告、レビュー、動向」など閲読審査を行う原稿は随時受け付けますが、原則として 11 月末日までに提出されたものを次に刊行される年報第 14 号に掲載します。

（文責・日永：年報編集委員長）